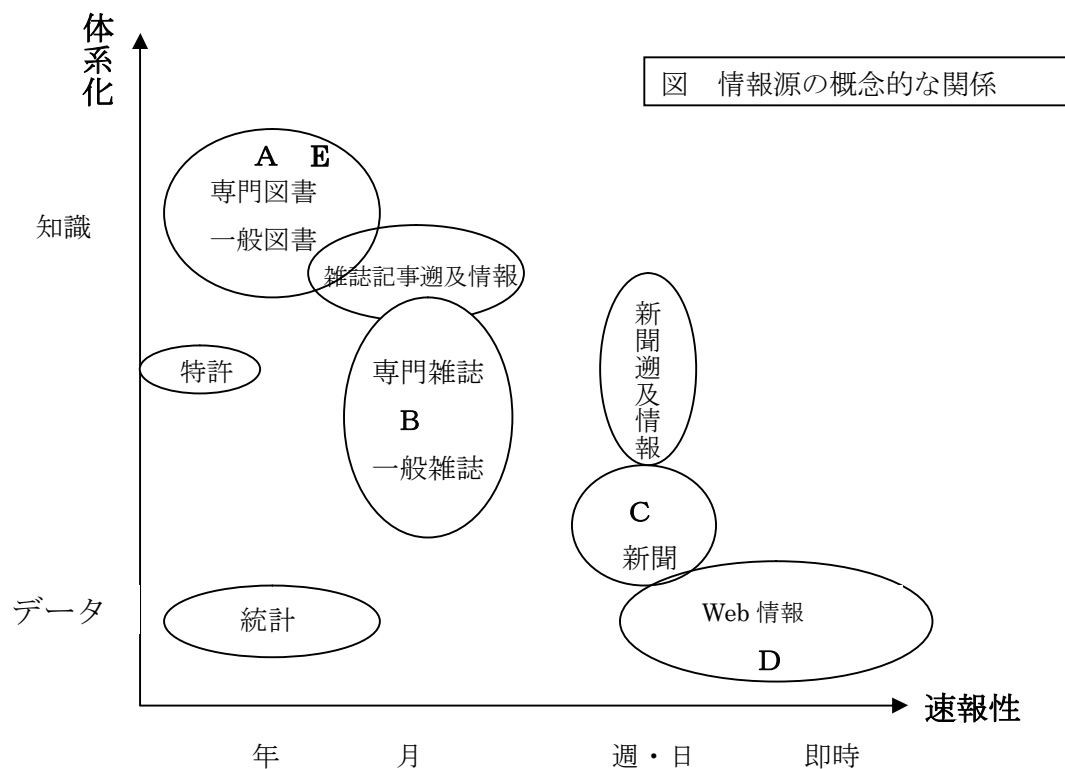


1. 情報収集に利用できるデータベース/情報源の選定

検索エンジンをはじめ世の中には数多くのデータベースが存在するが、それぞれのデータベースは必ず一定の情報源を対象としている。情報収集のためには効果的な情報源を推定してデータベースを利用する必要がある。情報源を推定するためには利用価値の高いと思われる情報の種類を想定することが効果的である。「データ～情報～知識」で示される情報の体系化の度合いによる種別と、「年～月～日～時間～即時」で示される速報性の度合いによる種別で考えると、情報収集の対象とする情報源を特定しやすくなる。

これまでに紹介した情報源（情報の種類）は、A 図書情報、B 雑誌記事情報、C 新聞記事情報、D Web 情報である。下図にこれらの情報を体系化と速報性の軸で概念的に示した。図を参考に、自分が必要とする情報は、知識かデータか、今の情報か過去の情報かを考えると有効な情報源を推定できる。



情報検索におけるキーワードの選択と、検索式の組み立てにあたっては、検索課題に関する基礎知識が不可欠である。情報収集の前に既に有している知識レベルによって収集する情報の種類も変わる可能性がある。基礎知識が無い場合は、まず基礎知識を得るために、図書を探したり、新聞記事情報から予備知識を得たり、Web 情報で関連キーワードを探したりする予備調査を行い、ある程度の基礎知識を身につけてからデータベースを選定し、情報検索を行う必要がある。予備調査と試行錯誤は良い結果を得るために不可欠である。

2. 情報源へのアプローチ（比較的効果的な事例を示します）

---実際の情報検索では自分で情報源へのアプローチ方法を考えることが重要です。

--- 1 3) には、情報検索の授業を振り返って、自分で考えた重要だと思う情報源へのアプローチ方法を記述する。出席確認の下のスペースにも同じ内容を記述し提出してください。

1) 適切なキーワードを見つけない

- ・ 検索エンジンに関連キーワードを入力しWeb情報からキーワードを探す
- ・ 新聞記事検索で関連記事の中からキーワードを見つける

2) 特定の話題が時代によりどのように変化してきたかを知りたい

- ・ 新聞記事の遡及検索
- ・ 雑誌記の遡及検索

3) 就職活動で面接を受けるために企業の情報を知りたい

- ・ 日経新聞のDBで企業の過去の情報を得る/企業のHPから情報を得る

4) 新しい専門知識を得たい

- ・ 専門雑誌の記事情報を検索する

5) 体系的な知識を得たい

- ・ 図書情報を収集する

6) 偏りのない知識や情報を得たい

- ・ 複数の図書や雑誌記事から情報を得る

7) 英語の適切なキーワードを見つけない

- ・ 日本語と英語のキーワードを同時に使用し、英語・日本語が共存するWebページから適切な英語のキーワードを見つける

8) 信頼性の高いWeb情報を得たい

- ・ go.jp, ac.jp ドメイン, 場合によっては co.jp ドメインを参考にする

9) 世界的に通用する専門的な情報を得たい

- ・ WEBSCOhosts, ProQuest, Dialog を使用する

10) レポート作成に役立つ情報を収集したい

- ・ 図書情報を探す（基礎知識が無い場合や詳しい情報が必要な場合）
- ・ 新聞記事を探す（具体的な事例や特定の出来事に関する情報が必要な場合）
- ・ Web情報を探す（参考情報として使用し、Web情報だけでレポートを作成しない）

11) 言葉の意味を詳しく知りたい

- ・ 百科事典を調べる(Wikipediaを100%信じないこと)/新聞記事を調べる
- ・ Web情報だけで確認しない（参考にする）

12) 不要な情報を除きたい

- ・ 検索式に not を使用する

13) \_\_\_\_\_（自分で考えた内容を記入する）